



子育ての知恵袋

さかさまことばで遊ぼう

今回は、聞いたことばをさかさまに言ったり、さかさまになったことばを聞いて、もとに戻す遊びです。聞いたことばを覚えておく力が必要になるので、音の数が4音、5音と増えるほど、さかさまに考えることも難しくなります。最初は2音、3音くらいから始めてみてください。

①さかさまに言ってみよう。

・ろく → _____ ・わに → _____ ・かた → _____
 ・くるま → _____ ・りんご → _____ ・あんぱん → _____

②さかさまになったことばを、もとに戻そう。

・さか → _____ ・もい → _____ ・どま → _____
 ・ななば → _____ ・このき → _____ ・たがわく → _____

*カード（絵や文字）を答え合わせや、ヒントに使うのもいいですね！



～いっしょに遊ぼう～

言葉には心の持ち方が現れる ②

<故金田一春彦氏（言語学者）>

前回に引き続き、金田一春彦氏のコラムを引用したいと思います。（抜粋文）

『日本人は、「謝る」ことを非常に良いことだとしています。「お礼」を言うよりも「謝る」ことのほうを良しとするんです。

例えば、バスにおばあさんが乗ってきたとします。席を譲ってあげるとおばあさんは何と言うか。「ありがとうございます」と言う人もいますが、「すみません」と謝る人も多いですね。

なぜ謝るか。それは、「私が乗ってこなければ、あなたは座っていることができたのに、私が乗ってきたばかりに立たなければならなかった。すみません」と、こういう論理です。

他人の家に行った時は「ごめんください」と最初から謝って家に入ります。「どうぞ」と言われ「失礼します」とまた謝ります。帰る時も「お邪魔しました」と最後まで謝り通します。でもこれが日本人の社交なんですね。』

相手への配慮が根底にあり、言葉になる。
 この『心持ち』が持てる人になって欲しいですね。

就学前の子ども達は、自己肯定感、自尊感情と呼ばれる『自分』という軸を育てていくのが何より大事です。そこから他者へつながっていくので急がさないようにしたいです。

『私』が主語になる考え方が大事なのですが、案外大人も難しいものなのです。

はちはち ごめんだ おら まら ぼうやら

オニ役の大人は人差し指でハチが刺すしぐさをします。

“私はまだ坊やだ(小さい)から”と、子どもは両手を合わせ拝むように上下に振りながらトナエます。

最後の言葉「ら」で刺す・こそばす・フェイントして刺さない等。刺したら役交代して遊びましょう。子どもからの逆襲も楽しい遊びです。

幼児教育センターは、就学前から小学校教育へつなごます
 事と希望もてる たからっこを
 応援します！

宝塚市教育委員会 幼児教育センター
 〒665-8665 宝塚市東洋町1-1
 電話 0797-71-1141(市役所)
 0797-77-2132(直通)
 FAX 0797-71-1891
 E-mail m-takarazuka0289@city.takarazuka.lg.jp

★ 発達、就園・就学等の相談がありましたら、上記にご連絡ください。